
ショート1 車

未定の四代目

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シヨート1 車

【Nコード】

N6019M

【作者名】

未定の四代目

【あらすじ】

シヨート

車、二人、違和感

（前書き）

とりあえずテスト投稿

タバコ臭い車内に二人は乗っていた。

「暗い道だねえ。」

一人は車に必ずついているバックミラーにほほ笑んだ。声を聞いた瞬間・・・いや前からだったかもしれない。一人の心は恐怖でいっぱいになった。

「今日はお出かけかい？」

一人は声を出そうとした・・・さてよ、なんでこんなことを聞くんだ。おかしい。僕たちはさつき会ったばかりじゃないか。いや、おかしくなんかない。ただの沈黙を破るための・・・違うっ・・・何かがおかしいんだ。

「大丈夫かい？」

背筋が凍る。手が震える。

「酔ったんじゃないかい？もう降りる？」

その意見に賛同しろ。もう何かに脅えるのは、この違和感に脅えるのは嫌だ。降りて走るんだ。どこかに逃げるんだ。理由なんてない。むしろ無いでほしい。

「ここにしよう」

車から降りるとそこはコンビニの前だった。・・・僕はそのまま900円分タバコを買って一人車に乗って帰った。

家に着くとテレビがついていた。車にタバコを置いてきたが睡魔におそわれてそのままベットに向かった。

・・・zzz

(後書き)

眠い

ショートむずい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6019m/>

ショート1 車

2010年10月10日06時02分発行